



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年8月4日

上場会社名 シュッピン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3179 URL http://www.syuppin.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 尚彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 奥田 留美 TEL 03 (3342) 2944  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,744	16.7	318	26.1	316	27.0	217	27.4
29年3月期第1四半期	5,779	8.3	253	33.8	248	34.4	171	38.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	18.21	18.05
29年3月期第1四半期	14.29	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成29年3月期第1四半期は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	7,334	3,473	47.3	289.59
29年3月期	6,676	3,399	50.8	283.38

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,466百万円 29年3月期 3,392百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,913	15.7	586	23.9	579	24.2	396	23.8	33.08
通期	28,429	13.7	1,402	27.8	1,387	28.6	950	28.2	79.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	11,970,400株	29年3月期	11,970,400株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	－株	29年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	11,970,400株	29年3月期1Q	11,970,400株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイトにて同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用の安定により緩やかな改善が続いていますが、その実感は得難く、また、外部環境も海外の政治情勢の不安定さに起因する急激な為替変動などもあることから、先行きの見通しが不透明な状況です。

当社が置かれていますEコマース市場は、経済産業省の公表による平成28年の国内BtoCのEC市場規模は前年から9.9%増加し15.1兆円となり、物販系分野、サービス系分野ともにその市場は大きく成長しております。そして、中古品市場につきましても拡大傾向は続き、その中のEC取引は、中古ビジネスへの注目から多様な業態が参入したことによるBtoC取引の増加、ユーザー層の広がりや取扱品の多様化によるインターネットオークション、フリマアプリなどを利用したCtoC取引の増加が市場拡大を牽引しています。一方で、市場の急速な拡大にともない、個人間トラブルや違法性の有無で社会的に問題視されつつある取引等も浮き彫りになっていることから、インターネット取引での安心を求めるユーザーが一層増えております。

このような経営環境のもと、当社は「お客様に『価値ある新品と中古品』を安心・安全にお取引できるマーケットを創出すること」を方針として、インターネットにおける中古品取引を可能とする仕組みをいち早く構築し事業展開を推進してまいりました。

当第1四半期累計期間におきましては、前事業年度より取り組みを開始しましたWebマーケティングにおいて、当社取引データに基づき顧客に合わせた各種施策、そして、EC会員がマイページで登録した商品の販売価格変更等の情報を知らせる「欲しいリスト」、登録した商品入荷情報を配信する「入荷お知らせメール」で顕在化されたニーズに応える形でのOne To Oneアプローチを積極的に推し進めました。また、ユーザーが撮影した写真を位置情報と紐づけて投稿するフォトシェアリングサイト「EVERYBODY×PHOTOGRAPHER.com」を公開しました。“カメラ好きの為の、カメラ好きが作る、カメラ好きが集まる”写真共有サイトを開発コンセプトとし、カメラ事業とのシナジー効果と中長期的にはメディア収益や有料サービスの導入による収益事業としての展開を視野に入れたサイトとして運営を開始しました。この他、ECを主軸とした既存サービスを活用することで、中古買取の増強と商品情報の充実等を図り、売上高は、6,744,248千円（前年同四半期比16.7%増）となりました。

販売費及び一般管理費では、買取及び販売取引の増加に伴う販売促進費、クレジット利用手数料、他社ポータルサイト利用手数料、シュッピンポイント付与等の増加がありましたが、システム運用費等の固定費の抑制と業務効率改善により人件費増加を制御することなどで、売上高販売管理費比率は前年同四半期から0.2ポイント低下し12.3%となり、結果、832,316千円（同14.7%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は318,932千円（同26.1%増）、経常利益は316,071千円（同27.0%増）となり、四半期純利益では217,954千円（同27.4%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### [カメラ事業]

前事業年度から引き続き、Webマーケティングへの取り組みを推し進めること、あわせて商品レビューページの充実、商品画像掲載枚数の増量、ブログでの情報発信に注力することなどにより、ECサイトの深耕に努めました。買取では、従来の当社独自のサービスと販促施策の活用により常時潤沢な品揃えを保つことができたことで、安定的な売上の確保に繋げ、売上高は4,830,413千円（前年同四半期比11.0%増）、セグメント利益は388,558千円（同13.4%増）となりました。

#### [時計事業]

新規開拓により取扱いブランドを増やすことと希少価値の高い高額品から人気ブランドまでの販売価格帯を幅広く持つことで、ECサイト上の品揃えの拡充と商材のボリュームアップを図りました。また、ECサイトでの各種コンテンツの充実と競合他店を意識したきめ細かな売価コントロールを行うことで、新規顧客の囲い込みを図り、売上高は1,679,180千円（前年同四半期比37.0%増）、セグメント利益は86,364千円（同94.3%増）となりました。

#### [筆記具事業]

従来より注力していますオリジナル商品では、新たなシリーズとして「源氏物語」をモチーフにした万年筆とインクの販売を開始しました。ECサイトでは、これまでの顧客からの問い合わせ内容に応じられる検索機能を実装し、スタンダードな項目を複合して検索できる「かんたん検索」とペン先硬さやサイズ感など細かな検索ができる「こだわり検索」の運用を開始しました。これらにより、売上高は140,250千円（前年同四半期比18.0%増）、セグメント利益は13,515千円（同13.5%増）となりました。

[自転車事業]

ECサイトでは、売上の主力となる中古のロードバイク本体、フレーム、ホイールの商品画像掲載枚数の増量を含めた商品ページの改善を進めました。販売では売上拡大の為に中古品の価格訴求による拡販を図り、買取では自社ECサイト及び自転車専門誌の広告を利用した積極的な取り組みを行ってきたことで、売上高は94,403千円（前年同四半期比13.2%増）となりましたが、中古品の拡販の為に値引きによる売上総利益率の減少と売上増加に伴う販売費の増加で、セグメント損失は2,828千円（前年同四半期は21千円の損失）となりました。

[販売チャネル別売上高の状況]

販売チャネル	売上高	構成比	前年同四半期比
EC	4,220,122千円	62.6%	116.7%
店舗	2,524,125千円	37.4%	116.6%
合計	6,744,248千円	100.0%	116.7%

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は7,334,448千円となり、前事業年度末と比較し、657,756千円の増加となりました。

流動資産は6,408,479千円となり、前事業年度末と比較して681,096千円の増加となりました。これは主として売掛金が232,289千円減少したこと、商品が1,022,532千円増加したことによるものであります。

固定資産は925,968千円となり、前事業年度末と比較して23,340千円の減少となりました。これは主としてソフトウェアが15,523千円減少したこと、ソフトウェア仮勘定が4,693千円減少したことによるものであります。

負債につきましては3,861,198千円となり、前事業年度末と比較して583,586千円の増加となりました。

流動負債は3,325,333千円となり、前事業年度末と比較して370,635千円の増加となりました。これは主として短期借入金600,000千円増加したこと、未払法人税等が190,180千円減少したことによるものであります。

固定負債は535,865千円となり、前事業年度末と比較して212,951千円の増加となりました。これは長期借入金212,951千円増加したことによるものであります。

純資産につきましては3,473,249千円となり、前事業年度末と比較して74,170千円の増加となりました。これは主として利益剰余金が74,309千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点においては平成29年5月8日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	644,420	531,562
売掛金	1,612,730	1,380,440
商品	3,209,371	4,231,904
その他	261,585	265,233
貸倒引当金	△726	△661
流動資産合計	5,727,382	6,408,479
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	123,819	119,295
無形固定資産		
ソフトウェア	457,254	441,731
ソフトウェア仮勘定	11,742	7,049
無形固定資産合計	468,996	448,780
投資その他の資産	356,492	357,893
固定資産合計	949,308	925,968
資産合計	6,676,691	7,334,448
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	823,485	744,629
短期借入金	800,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	628,601	721,760
未払法人税等	267,970	77,789
賞与引当金	—	8,172
ポイント引当金	137,054	151,677
その他	297,586	221,304
流動負債合計	2,954,697	3,325,333
<b>固定負債</b>		
長期借入金	322,914	535,865
固定負債合計	322,914	535,865
負債合計	3,277,611	3,861,198
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	508,656	508,656
資本剰余金	408,656	408,656
利益剰余金	2,474,848	2,549,158
株主資本合計	3,392,161	3,466,471
新株予約権	6,918	6,778
純資産合計	3,399,079	3,473,249
負債純資産合計	6,676,691	7,334,448

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,779,682	6,744,248
売上原価	4,801,054	5,592,998
売上総利益	978,628	1,151,249
販売費及び一般管理費	725,611	832,316
営業利益	253,017	318,932
営業外収益		
受取利息	3	2
受取手数料	32	46
その他	0	15
営業外収益合計	36	64
営業外費用		
支払利息	3,057	2,681
その他	1,086	243
営業外費用合計	4,143	2,925
経常利益	248,910	316,071
特別利益		
新株予約権戻入益	—	139
特別利益合計	—	139
特別損失		
固定資産除却損	463	73
特別損失合計	463	73
税引前四半期純利益	248,446	316,137
法人税、住民税及び事業税	63,490	68,414
法人税等調整額	13,917	29,768
法人税等合計	77,408	98,183
四半期純利益	171,038	217,954

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(賞与引当金)

前事業年度において、従業員賞与の支給確定額を未払金として計上しておりましたが、当第1四半期会計期間より賞与に関する社内制度を変更したことに伴い、賞与支給見込額のうち当第1四半期累計期間の負担額を賞与引当金に計上しております。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期 損益計算書 計上額
	カメラ事業	時計事業	筆記具事業	自転車事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,351,460	1,225,949	118,868	83,405	5,779,682	—	5,779,682
計	4,351,460	1,225,949	118,868	83,405	5,779,682	—	5,779,682
セグメント利益又は損失 (△)	342,763	44,449	11,908	△21	399,099	△146,081	253,017

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書上の営業利益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本部人件費等の一般管理費146,081千円については調整額としております。

当第1四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期 損益計算書 計上額
	カメラ事業	時計事業	筆記具事業	自転車事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,830,413	1,679,180	140,250	94,403	6,744,248	—	6,744,248
計	4,830,413	1,679,180	140,250	94,403	6,744,248	—	6,744,248
セグメント利益又は損失 (△)	388,558	86,364	13,515	△2,828	485,610	△166,677	318,932

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書上の営業利益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本部人件費等の一般管理費166,677千円については調整額としております。